

## 平成 29 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	建設緑政局道路河川整備部 道路整備課	要素事業所管課	建設緑政局道路河川整備部道路整備課
----------	-----------------------	---------	-------------------

## 1 計画の概要

計画の名称	川崎市内における連続立体交差事業による交通渋滞の解消及び踏切事故の解消	計画の期間	平成 25 年度～ 平成 29 年度
計画の目標	連続立体交差事業を実施することにより、都市交通円滑化を図るとともに、都市機能の向上・活性化を図る。		
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連立事業と併せて実施する駅前広場拡幅</li> <li>・ 駅前広場隣接のまちづくり計画の進展</li> </ul>		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	第 1 回変更：国費率の変更に伴う計画変更（平成 25 年度末） 第 2 回変更：費用便益比の追記に伴う計画変更（平成 28 年度末）		

## 2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況（概要）

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	京浜急行大師線	20,756,000	20,756,000	16,935,189	81.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地取得</li> <li>・ 工事推進</li> </ul>
B (関連社会資本整備事業)						
C (効果促進事業)						
全体事業費 (A+B+C)		20,756,000	20,756,000	16,935,189 【財源内訳】 国:9,162,654 市:7,772,535	81.6	

## 3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前広場面積</li> <li>・ 住宅戸数</li> </ul>			
定義及び算定式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業道路駅前地区地区計画における地区計画駅前広場面積 (m<sup>2</sup>)</li> <li>・ 産業道路駅前広場隣接の住宅開発による住宅の整備戸数 (戸)</li> </ul>			
その指標を設定した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前広場の拡幅により、都市機能の向上・活性化の向上度合いを評価できるため。</li> <li>・ まちづくり計画の進展により、都市機能の向上・活性化の向上度合いを評価できるため。</li> </ul>			
当初現況値 (H25)	中間目標値	最終目標値 (H29)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面積 2,383m<sup>2</sup></li> <li>・ 戸数 138 戸</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面積 10,935m<sup>2</sup></li> <li>・ 戸数 560 戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面積 10,935m<sup>2</sup>(見込)</li> <li>・ 戸数 558(確定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①未達成(見込み)</li> <li>②概ね達成</li> </ul>
目標達成状況に対する所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区計画駅前広場面積は現在検討中ですが、暫定バス乗降場が 2 台分整備され、駅前広場機能が一部発現しております。</li> <li>・ 駅前広場に隣接する住宅開発が完成し、まちづくり計画の進展が図られました。</li> </ul>			
将来の見込み	連続立体交差事業と併せて駅前広場整備を行うことにより、目標を達成するものと見込んでおります。			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	
定義及び算定式	
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民からの意見 内 容：市ホームページに事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民から意見を募集。また、区役所に冊子、意見書（紙）を設置。 手 法：意見書の持参、郵送、FAX、メールなどにより意見を募集。 実施期間：9月1日～9月29日</li> <li>・駅利用者等からの意見 内 容：産業道路駅利用者等にアンケート調査を実施。 手 法：駅周辺で、対象者にあらかじめ用意した設問に回答して頂く。 実施期間：9月21日（午後）、9月25日（午前）</li> </ul>
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続立体交差事業の進展と関連して、暫定バス乗降場や新たな住宅開発が完成したことなどから、一定程度、利便性の向上やまちづくり計画の進展が図られたと感じる利用者はいるものの、現在の駅前広場や駅の周辺状況に対する満足度は低い。</li> <li>・連続立体交差事業の実施に伴い、将来のまちづくりが進展し、駅前広場や駅周辺の利便性が向上することを期待している利用者は多い。</li> <li>・その他、現在の事業進捗状況に対する不満や早期完成が望まれている。</li> </ul> <p>→事業効果の早期発現に向けて、引続き、コスト縮減に取り組ながら事業の進捗を図ります。</p>

6 今後の方針等

総合的な所見	<p>連続立体交差事業の進展と関連して、暫定バス乗降場の整備や新たな住宅開発が完成したことなどにより、産業道路駅の利便性の向上や、まちづくり計画の進展が図られたが、連続立体交差事業が事業中のため、駅前広場を含む駅周辺のまちづくりは途上であり、事業効果はまだ十分に発揮されている状況にはなく、事業の早期完成が期待されています。</p>
今後の方針 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">           次期計画  <input checked="" type="checkbox"/>あり・なし         </div>	<p>連続立体交差事業は完成までに多くの時間と費用を要しますが、多くの踏切を除却することで、渋滞解消による道路交通の円滑化や踏切事故の解消、鉄道により分断された市街地の一体化による地域の活性化が図られるなど、地域の活力や魅力の向上にも波及する効果の高い事業であることから、事業効果の早期発現に向けて、引続き、コスト縮減に取り組ながら事業の進捗を図ります。</p>

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	3 川崎市内における連続立体交差事業による交通渋滞の解消及び踏切事故の解消	交付対象	川崎市
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）		

